

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	物理療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	能訓練室、水治療法室
担 当 教 員	土居 潤平	実務経験とその関連資格	※「理学療法士」総合病院での実務経験あり。			
《授業科目における学習内容》						
物理療法とは、物理的エネルギー（熱、光、水、電気、超音波、力など）を生体に加えることにより、生体の恒常性維持作用を促進させ様々な症状の改善を図る治療法である。本講義では、まず物理的エネルギーが生体に与える生理的な影響を理解することを目標にする。次に本講義では、安全に物理療法を実施するために、各療法における目的・適応・禁忌、さらに物理療法実施時の操作方法・リスク管理などに関する系統的な知識の修得を目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点（10％）、実技課題（30％）、筆記試験（60％）						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版						
《授業外における学習方法》						
グループ学習を中心に行います。個々人が積極的に取り組むようにしてください。						
《履修に当たっての留意点》						
試験（定期試験、小テスト）で不正行為が認められた者は、履修規定第4章16条に従い、当該科目を無効とする。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	物理療法の定義・歴史・分類・生理的基礎について理解することが出来る		標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版	事前学習 シラバスの確認（20分） 事後学習 授業内容のまとめノートの作成（40分）
		各コマにおける授業予定	物理療法の概要を理解し、分類を説明できる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	温熱療法の種類・適応・禁忌を理解することが出来る 寒冷療法の種類・適応・禁忌を理解することが出来る		標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認（20分） 事後学習 授業内容のまとめノートの作成（40分）
		各コマにおける授業予定	温熱療法、寒冷療法の種類・適応・効果・禁忌を説明できる。			
第3回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	力学的機器の適応・禁忌を理解することが出来る マッサージの種類・適応・禁忌を理解することが出来る		標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認（20分） 事後学習 授業内容のまとめノートの作成（40分）
		各コマにおける授業予定	牽引療法の適応・効果・禁忌を説明できる。 マッサージの適応・効果・禁忌を説明できる。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	水治療法の種類・適応・禁忌を理解することが出来る		標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認（20分） 事後学習 授業内容のまとめノートの作成（40分）
		各コマにおける授業予定	水治療法の種類・適応・効果・禁忌を説明できる。			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	電気刺激療法の概要について理解することが出来る		標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認（20分） 事後学習 授業内容のまとめノートの作成（40分）
		各コマにおける授業予定	電気刺激療法の定義、分類、生理的作用			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	超音波療法の使用、適応が理解できる	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認 (20分) 事後学習 授業内容のまとめノート の作成(40分)
		各コマに おける 授業予定	超音波療法の使い方、適応、禁忌		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	極超短波療法、レーザー療法の使用、適応が理解できる	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認 (20分) 事後学習 授業内容のまとめノート の作成(40分)
		各コマに おける 授業予定	極超短波療法、レーザー療法の使い方、適応、禁忌		
第8回	演習 実習形式	授業を 通じての 到達目標	筋電図の使い方を理解できる クロナキシーメーターの使い方と目的を理解できる	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第5版	事前学習 前回の授業内容を確認 (20分) 事後学習 授業内容のまとめノート の作成(40分)
		各コマに おける 授業予定	筋電図・クロナキシーメーターの使い方、適応について		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ (30分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ (30分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ (30分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ(30 分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ(30 分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ(30 分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	各種機器の使用方法を理解する	標準理学療法学 専門分野 物理 療法学 第4版 各種物理療法機 器	事前学習 各機材の使用法を復習 する(30分) 事後学習 機器操作方法のまとめ(30 分)
		各コマに おける 授業予定	実技演習		